



華族たちの別邸の暮らしに迫る ～博物館 展示解説～

「なぜ、この那須野が原に多くの華族が農場を展開したのか」。その真相に迫る特別展「那須野が原に農場を一華族がめざした西洋」の展示解説が、10月14日に那須野が原博物館で行われました。

華族農場と別邸での生活を調度品や古写真などゆかりの品々で紹介している当展示。参加者は馬車やパラソルなど当時使われていた実物を眺めながら、華族の優雅な生活に思いをはせているようでした。特別展は11月25日まで公開しています。



一本のたすきをみんなで繋いで ～市駅伝競走大会～

10月6日、那須野が原公園の周回コースで第14回那須塩原市駅伝競走大会が開催されました。

この日は、一般の部に41チーム、高校の部に10チーム、中学混合の部に25チームが参加し、その健脚を競いました。あいにくスタート直前まで雨が降っていましたが、選手たちの力走を応援するかのようみるみる天候も回復。選手たちは沿道からの声援に力づけられながら、気持ちよさそうにコースを走り抜けていきました。



1 大きなホルスタインにびっくり！真剣なまなざしでの搾乳体験 2 あこがれの屈折はしご車で大空へ！上空は気持ちのいい風が 3 さまざまなイベントがあちらこちらで行われた会場には多くの笑顔があふれた



見て、体験して、食べて！ 秋を満喫 ～西那須野産業文化祭・畜産フェア～

10月13・14日にかけて、にしなすの運動公園を中心に特設会場で西那須野産業文化祭が開催され、晴天に恵まれた会場は多くの人でにぎわいました。14日には畜産フェアも同時開催され、肉やチーズ、ミルクといった本市を代表する畜産物の逸品を堪能していました。牛乳で乾杯に参加した山田朱里さん(9歳)は、「牛乳が大好き。アイスクリームにかけて食べるのが好き」とっておきのレシピを教えてくださいました。



往年の名車が駆け抜ける ～ラ・フェスタ ミッレ・ミリア 2018～

気持ちよく晴れ渡った10月21日、塩原温泉にクラシックカーの名車約90台が現れました。これは明治神宮をスタート・ゴールとし、東北地方を巡る「ラ・フェスタ ミッレ・ミリア」というイベントで、本市を通過するのは8年ぶり。チェックポイントとなった塩原支所をはじめ、温泉街の沿道には珍しいクラシックカーを一目見ようと多くの人々が訪れ、写真を撮ったり小旗を振ったりして参加者を応援しました。



お嫁さんようこそ！地域にお披露目 ～花嫁薬師様参り～

10月21日、塩野崎にある薬王寺奥の院で薬師大祭が開催され、今年は5人の花嫁が正装してお参りを行いました。この行事は、嫁いできた花嫁を地域住民にお披露目するため、江戸時代に始まったと言われていました。

天候に恵まれた会場では、子どもおはやしクラブの心地よい演奏や地元の人たちによる荳狩鍋の無料配布、福引き抽選会なども行われ、地域住民の交流の場にもなっていました。



湧き出る湯の恵みに感謝 ～塩原温泉 古式湯まつり～

9月30日、塩原温泉で温泉の恵みに感謝する古式湯まつりが厳かな雰囲気の中、開催されました。塩原温泉発祥の地とされる元湯温泉で汲まれた「御神湯」は、関係者により大切に湯っ歩の里まで運ばれ、各地区の代表者に分け与えられました。今年は悪天候のため、温泉街での行列は中止となりましたが、塩原小中学校の生徒たちによって巫女舞が奉納され、参加した人たちは湯の恵みに感謝し、更なる塩原温泉の発展を祈っていました。



開駅20周年を祝って感謝祭 ～道の駅 明治の森・黒磯～

9月22日、道の駅「明治の森・黒磯」で、開駅20周年を記念して感謝祭が開催されました。この施設は、平成10年(1998)4月にオープン。当時は年間利用者が約24万人だったのに対し、現在は倍の約58万人が利用するまでになりました。この日は記念式典のほか、産直鍋が無料で振る舞われ、那須拓陽高校の生徒たちによる疎水太鼓の演奏のほか、さまざまな催しが行われ、訪れた多くの人たちは思い思いに楽しんでいました。